

CEFR-J レベル

A2.1

技能

Spoken Interaction

Can Do descriptor

順序を表す表現である first, then, next などのつなぎ言葉や「右に曲がって」や「まっすぐ行って」などの基本的な表現を使って、単純な道案内をすることができる。

⇒CEFR-J descriptor: 「右に曲がって」や「まっすぐ行って」などの基本的な表現を使って、単純な道案内をすることができる。

タスク：

内容：観光案内所のスタッフとして、地図を見ながら外国人旅行客にアドバイスを与える。教員と生徒のロールプレイ。教員が外国人旅行客で、生徒が観光案内所のスタッフ。教員はやりたいことを3つ決めておいて、どこに行ったらいいのかを聞き出す。生徒は地図を見ながら話す。

形態：先生との面接形式とする。

手順

① 指示：「このカードを読んでください。読み終わったら顔を上げてください。」

② カード：

あなたは観光案内所のスタッフです。先生は海外から来た観光客です。観光客（先生）はやりたいことがいくつかあり、質問をします。地図を見ながら、観光客（先生）にアドバイスをしてください。聞いたり話したり、二人で会話をするようにしてください。

この後に、考える時間が15秒あります。

カードを読み終わったら顔を上げてください。

③ 地図カードを渡す。

④ 指示：「では、15秒間、何がどこにあるかを確認してください。」ストップウォッチで15秒測る。

⑤ 15秒後に、会話開始。ストップウォッチで2分測る。

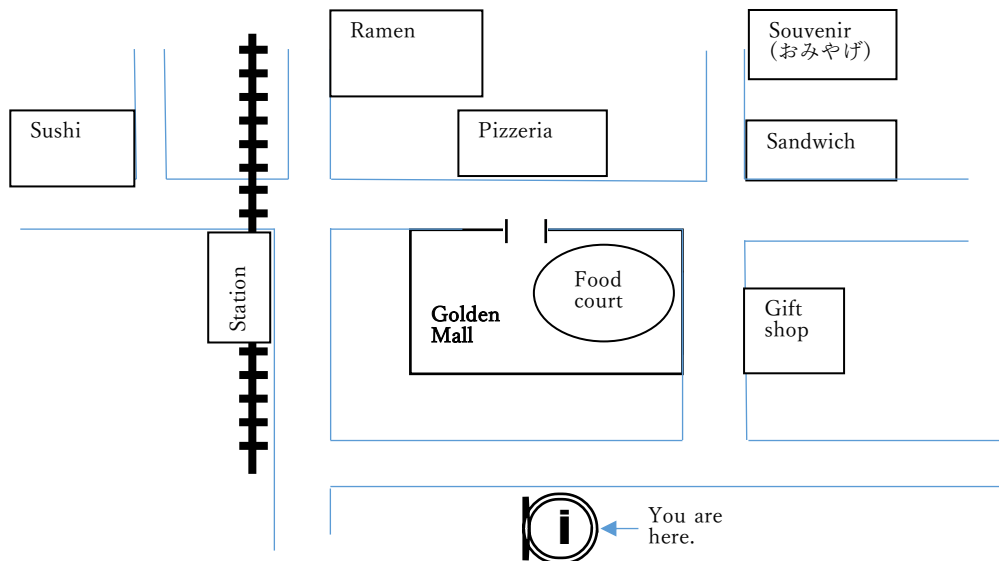
⑥ 2分以内に、3か所の道案内をすることを目標とする。

⑦ 生徒が黙ってしまった時には、直前に言ったのと同じ言葉をゆっくり繰り返したり、それを言い換えたりして発話を引き出そうとしてみる。それを1回試みて発話が出ないときには次に行く。このレベルでは、生徒の発話が自発的に出てくるかを確認するために、教員は次の発話をする前に最低5秒は待つ。

⑧ 理解を妨げるような誤った発話の時には、意味を確認する。それ以外の時には話を合わせて次に行く。

⑨ 話の途中でも、2分後に会話をストップする。そこまでの発話で評価する。

地図カード（指さしなどが可能になるように、カードに大きく印刷する。ただまっすぐ進むだけのところには、何もないような地図にする）



（アウトプット）テキスト 1：この CEFR-J レベルで合格の会話

教員: I am very hungry.

生徒: Do you want to try something Japanese?

教員: Sure.

生徒: Then there is a sushi restaurant here.

教員: How can I get there from here?

生徒: OK. You are here. Get out of this information center and go to the left. Go straight on this street and turn right at the end. If you walk a little, you will see the station on your left. Then turn left, cross the railway. The sushi restaurant is on your right. (1 か所 OK)

教員: Thank you. I also have to buy some souvenir after lunch.

生徒: From the sushi restaurant, go back and cross the railway again. At the second intersection, if you turn left, there is a souvenir shop. (Sushi restaurant からでなく、Information center から説明する必要があるため、そうならない場合には、Sushi restaurant から説明するように伝える) (2 か所 OK)

教員: OK. After buying the souvenir, I need to take the train.

生徒: Go out of the souvenir shop. Turn left and go straight. Turn right at the intersection. Go straight one block and you will see the station ahead. (3 か所 OK)

教員: Thanks! Thank you. This is the end of the task.

(2 分で 3 つの場所について十分にかつスムーズに説明できているため、評点 3)

（アウトプット）テキスト 2：途中で沈黙など問題がある場合

教員: I am very hungry.

生徒: ... (10 秒沈黙)

教員: I am very hungry.

生徒: ... (10 秒沈黙)

教員: Do you have a sushi restaurant here?

生徒: Yes.

教員: How can I get there from here?

生徒: OK. You are here. Go straight. Turn right. Turn left. It's on your right. (1 か所 OK)

教員: Thank you. I also have to buy some souvenir.

生徒: Here. … (10 秒沈黙)

教員: Here? How can I get there? … (2 分たってストップウォッチが鳴る) OK. Thanks! Thank you. This is the end of the task.

(どの場所について十分に説明できていないため、評点 1)

開発段階

第 1 期 (作成) 第 1 期 (実施) 第 1 期 (分析)

第 2 期 (改訂) 第 2 期 (実施) 第 2 期 (分析)

メモ

注意点:

- ・生徒がどこまで話せるかを知るために、教員は手助けをしすぎないようにする。
- ・補助資料を見ながらなら話せる、というのが A2 レベル。もし指さして、Here と言った受験者には、How can I get there? と聞き、詳しく説明するように求める。

評価の目安:

- ・行き方を 3 か所尋ねて、2 か所以上を動詞がある文で説明できれば、評点 2。
- ・すべてきちんと動詞がある文で道案内ができ、しかも流暢さが自然なら、評点 3。

開発担当者: 金子恵美子